

～経済を学び、未来を考える交流会開催～

日経STOCKリーグ

「チームで挑戦！ 株式投資でアクティブ・ラーニング」を差し上げます。

今回登場した高橋教授、篠田教諭をはじめSTOCKリーグに参加している教員、学生、審査員などの生の声を掲載。日経STOCKリーグを活用したアクティブ・ラーニングの事例を紹介します。

■お申し込み：下記URLにアクセスして必要事項を入力の上、お申し込みください

<http://adnet.nikkei.co.jp>

■お申し込み締め切り：2017年1月10日(火)

■お問い合わせ先：
「日経STOCKリーグ事務局」 Tel: 03-3545-9823
E-mail: stockleague@info.email.ne.jp

※応募多数の場合は抽選の上、本を発送いたします。
当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

抽選で
100人に
プレゼント



グループディスカッション

学生から、「答えのない問題に取り組んでいくのが人生初の経験」「同じ目標に向かってチームで取り組んでいく上で、チームビルディングやスケジュール管理、環境づくりなど通常では経験できないことが学べる」「たとえバーチャルでも投資を行える」「たとえバーチャルでも投資の本質を考える機会になる」などの発表があつた。



篠田教諭



高橋教授



渋澤会長

大学では会計学や経営学、経済学などの専門的な学問を学ぶが、それらを1つに融合した分析をする授業を行つた。共通して心がけたのは、「生徒自身に発見してもらうように導くこと」だ。進路を決める上でSTOCKリーグでの経験が役に立つたという話も聞く。長い目で教育効果を見ることが大切だ。

日経STOCKリーグで審査委員を務めていた経験を基に考えるとSTOCKリーグには2つ利点がある。まず、正解が1つだけではないこと。通常の授業では正しい答えを1つ導き出せば良いがそうではない。2つ目の利点は挫折も経験できること。枠の外にある答えを探すことでも、人間的にも成長できる。

パネルディスカッション

日経STOCKリーグの活用法

「パネリスト」

コモンズ投信会長

渋澤 健氏

中央大学 商学部教授

高橋 豊治氏

都立西高等学校 教諭

篠田 健一郎氏

今年で17回目を迎える中・高・大学生向け株式学習レポートコンテスト「日経STOCKリーグ」（主催・日本経済新聞社、特別協賛・野村グループ）では、教育現場で本プログラムを活用している教員や参加学生を対象に交流会を開催した。コモンズ投信会長の渋澤健氏による「真なる金融教育で心のデフレを脱却」をテーマにした基調講演に続き、パネルディスカッション、グループディスカッションを実施し、活発な議論が行われた。